



PSD

ぴーえすでいー

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字



Adobe Photoshop から PSD で保存する画面（上図）と、そのオプションの画面（下図）。

PSD はアルファチャンネル、レイヤーなど、Adobe Photoshop での編集機能を維持したまま保存することができる。

PSD からそれ以外のファイルフォーマットを選択すると、それらの機能が破棄されたり、複製が保存されることがある。他のバージョンの Adobe Photoshop や、他のアプリケーションで PSD ファイルを開く場合は、Photoshop 形式オプションで互換性を優先にチェックを入れておく。

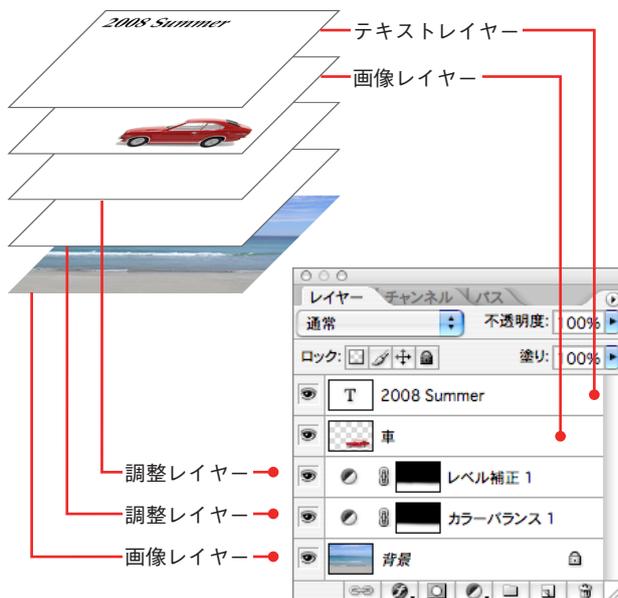
概要

PSD とはビットマップデータのファイルフォーマットのひとつで、画像編集ソフトウェア Adobe Photoshop ネイティブのファイルフォーマットです。拡張子は .psd です。Photoshop 形式と呼ばれることもあります。

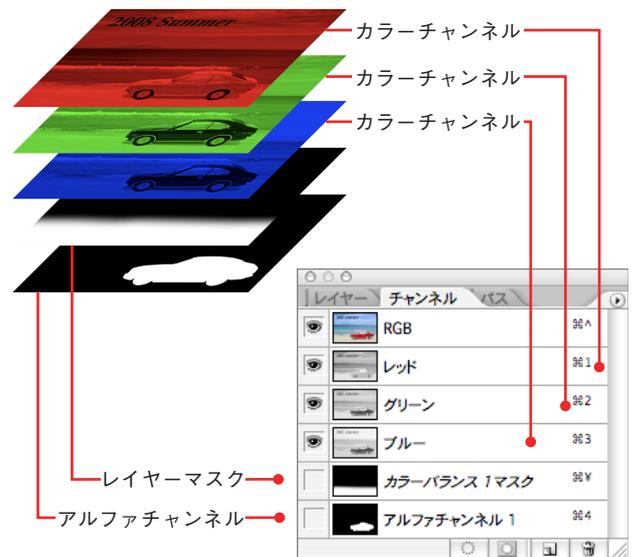
Adobe Photoshop は多機能な画像処理ソフトウェアであり、PSD はレイヤーやチャンネルなど Adobe Photoshop の機能を保持したまま保存できます。従って Adobe Photoshop で画像を編集する場合、編集中はファイルを PSD で保存しておきます。編集後、PSD ファイルから、印刷用途であれば TIFF や EPS、Web 上で利用するのであれば JPEG や PNG、GIF など、適切なファイルフォーマットに変換・保存するのが一般的ですが、その場合、別のファイルフォーマットではレイヤーやチャンネルなどの情報が失われるので、PSD のファイルは残しておいた方が良いでしょう。これはどの画像編集ソフトウェアを利用する場合も同じであり、編集中は利用する画像処理ソフトウェアのネイティブな形式で編集をし、編集後もその形式のファイルを残しておくのが基本でしょう。

また Adobe InDesign、Adobe Illustrator、Adobe Flash など、アドビシステムズ社のデザイン、マルチメディア制作に利用されるソフトウェアは多岐に渡りますが、各ソフトウェア間の連携が強化されており、他のソフトウェアネイティブのファイルでもその機能を維持したまま読み込むことが可能となってきました。PSD はそのような意味でも利用価値があるファイルフォーマットといえるでしょう。

ただし多くのレイヤーを使用した場合など、高機能ゆえにファイルサイズが大きくなるファイルフォーマットでもあるので、PSD のまま Adobe InDesign や Adobe Illustrator に画像を多く配置したりなど、無意味に使用するのは考えものです。



Adobe Photoshop では、画像の構成要素などを個別のレイヤーとして扱うことができる。
PSD では、画像レイヤーの他、テキストをテキストのまま編集できるテキストレイヤーや、レベル補正、カラーバランスなどの効果を持つ調整レイヤーなどを維持したまま保存ができる。



Adobe Photoshop には、チャンネルという機能があり、カラーモードの色情報（上図では RGB）などを個別に扱える。PSD では、カラーチャンネルの他、選択範囲の保存や作成に利用されるアルファチャンネルや、その 1 種である、特定のレイヤーの表示領域を制御するレイヤーマスクなどを維持したまま保存ができる。